

おおまち

No.149

平成25年5月1日

市議会だより

発行／大町市議会
編集／市議会だより編集委員会
〒398-8601
長野県大町市大町3887番地
TEL.0261-22-1139
市議会ホームページ
<http://www.city.omachi.nagano.jp/ctg/C17/17.html>



なかよく
しょうね♡

おもな 内容

3月定例会 2
議長の一言 12
北小6年生議会傍聴の感想 14
特別委員会報告 15

意見交換会報告 16
西小6年生子ども議会 18
議会だより編集委員会より 20

平成25年

3月定例会

平成25年度 一般会計当初予算可決 158億4,600万円、前年比1.5%増

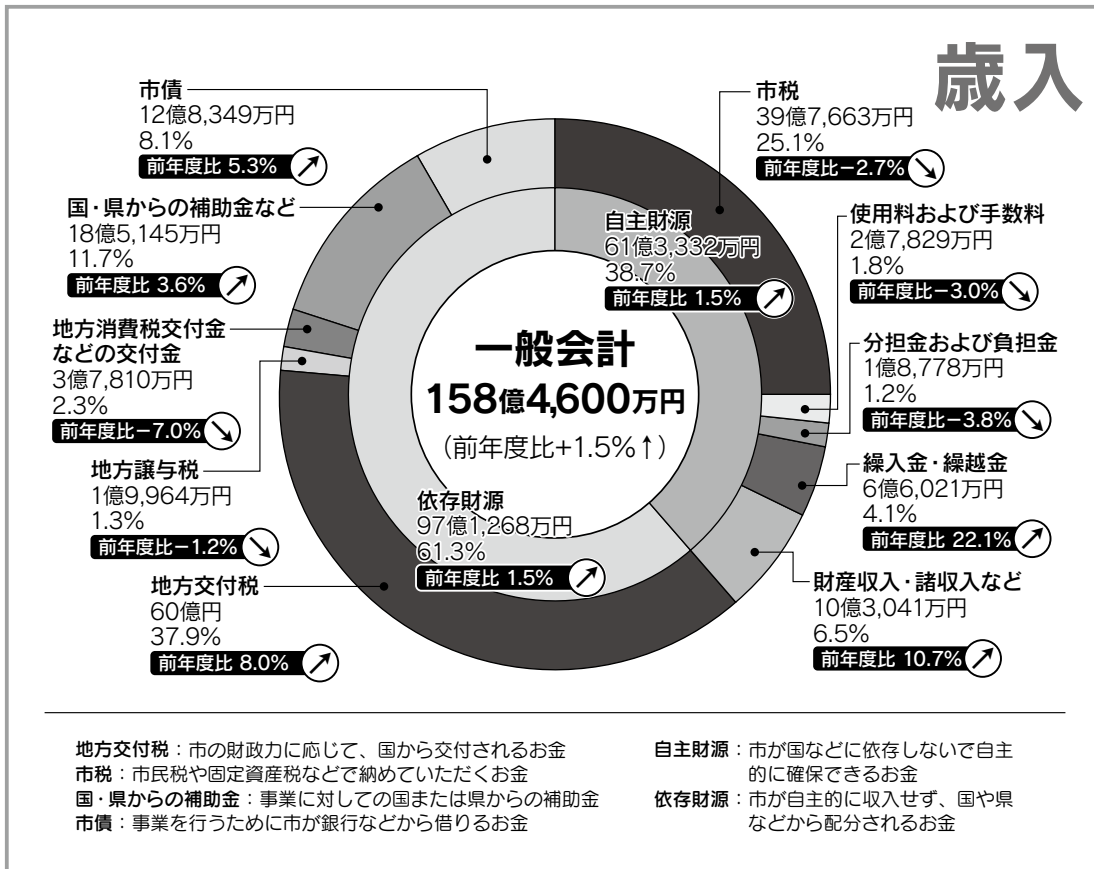
討論の末 13対4で可決

◆反対討論◆

- 八木 聡 議員**
「定住化促進対策の商品券配布と木質バイオマスエネルギーでない化石燃料のボイラー導入に反対」
- 平林 英市 議員**
「工場誘致条例を正規社員の雇用を求める条例改正をすべき。地下水調査やダムの崩壊調査をすべき」
- 大和 幸久 議員**
「臨時職員の処遇に配慮がされていない。公契約条例を検討すべき。ごみ処理場建設の用地選定方針が不適切」

◆賛成討論◆

- 勝野 富男 議員**
「定住化促進策の修正を加えながら積極的にやってもらいたい。先を見据えた議論を深めていくことが必要」
- 堀 堅一 議員**
「まずは新年度事業を着実に出発させ、同時に市議会も行政と協力して、市の発展に向けて、共に汗を流していくことが大切である」



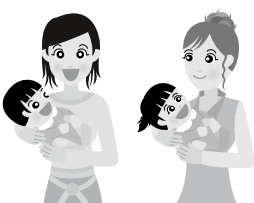
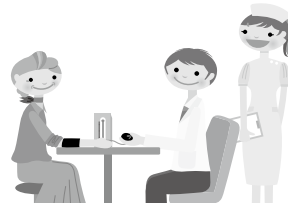






平成25年3月定例会は、2月26日から3月15日の18日会期で行われました。
 人事案件2件、事件案件2件、条例案件18件、新年度予算を含む予算案件20件の合計42案件が審議されました。慎重審査の結果すべての議案が可決・同意されました。

市議会を生中継しています

市議会本会議の様様を、大町市ケーブルテレビと大町市ホームページで生放送しています。またケーブルテレビでは、一般質問の様様を再放送しています。ホームページでは録画をご覧いただけます。

新年度の一般会計予算を 市民一人あたりに換算すると、 約 53万 3,000 円 になります。

1人あたりの内訳は、

福祉・子育て支援に 138,490 円 	保健・医療・ごみ処理に 75,744 円 	道路整備や除雪に 58,344 円 	農業・商工・観光振興に 51,488 円 
教育などに 45,441 円 	消防・防災対策に 17,800 円 	行政運営に 76,340 円 	借金返済に 69,726 円 

人口 29,709 人で計算（平成25年3月末現在、外国人登録を含む）

各会計別予算規模

会計名		平成25年度	対前年度比 (%)	
特別会計	特別会計	国民健康保険	33 億 4,395 万円	0.0 %
		後期高齢者医療	3 億 983 万円	+ 0.2 %
		公共下水道	14 億 1,864 万円	+ 18.3 %
		農業集落排水事業	1 億 541 万円	+ 0.4 %
		公営簡易水道事業	2 億 5,791 万円	+ 15.9 %
		温泉宿泊施設事業	2,801 万円	新設
	企業会計	水道事業	8 億 566 万円	△ 3.6 %
		温泉引湯事業	1 億 535 万円	+ 64.0 %
		病院事業	57 億 6,261 万円	△ 1.2 %
特別・企業会計小計		121 億 3,736 万円	+ 1.9 %	
一般会計		158 億 4,600 万円	+ 1.5 %	
総計		279 億 8,336 万円	+ 1.7 %	

(会計別に 1 万円以下の端数があるため、内訳と計は一致しない)

一般会計予算の動向

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
歳入・歳出	161 億 5,200 万円	156 億 600 万円	158 億 4,600 万円

一般会計の主な事業

定住促進プロジェクト

1億8,781万円

住宅取得支援、定住促進住宅、子育て商品券など。

西公園内親水エリア整備

2,500万円



あすなる保育園改築設計

4,151万円



平 B&G 体育館改修

4,319万円

山岳博物館展示改修事業

6,025万円

平成26年4月リニューアルオープン



若宮駅前線整備事業

継続事業一部工事着手 2億3,591万円



くろよん 50周年記念事業負担金

ディズニーパレード他 1,200万円

国保会計赤字補填

法定外繰出金 1億5,000万円

その他の議案

公平委員・教育委員が決まりました

- ◆公平委員 藤井俊道氏（大町）
- ◆教育委員会委員 荒井今朝一氏（平）

霊園設置及び管理に関する条例の一部改正

新たに合葬式墳墓（個別埋蔵・共同埋蔵）についてのルールが追加されました。

雇用促進住宅設置及び管理に関する条例の一部改正

入居の際に求められる連帯保証人が従来の2名から1名になりました。

市立大町総合病院 医師研究資金貸与条例の一部改正

病院事業管理者の判断により、研究のために支出した費用のうち、医療業務の向上に必要と認めるものに相当する金額の返還債務を免除できるようになりました。



一般質問

ここが聞きたい ただしい

3月定例会では、11名の議員が個人質問を行いました。
 以下は、その要旨です。(この欄は、質問議員の原稿どおり掲載しています)

個人質問



予算編成・交流人口・
 教育問題
 眞嶋 強志

質問 第4次総合計画後期5カ年計画は2年目に入る。新年度予算編成の過程で、事業計画の達成率や事業評価を総括したのか。事業の新陳代謝・独自性・オリジナル性など新たな視点で予算組みを実行したのか。

答弁 本年度は年度途中での事業評価は実行していないが、前年の行政評価を踏まえ、新年度に実施する。新年度予算編成では、市の喫緊の課題に対応する3つのプロジェクトに対して、予算を重点的に配分する。

質問 財政の健全化を図る観点から、実質公債費比率、将来負担比率、市債残高などはどうなっているか。

答弁 公債費負担の縮減に努めた結果、市債償還元金は当初予算に比べ1億円余の減額、構成比でも前年比で0.8ポイントの減となる。有利な市債活用を図り、実質公債費比率や将来負担比率の財政指標は改善に進む。

質問 交流人口400万人の動態を把握しているか。新年度の交流人口増に向けた事業展開についての見解は。

答弁 観光客の入込数以外の参加者数は担当部課等に照会中である。くろよん50周年記念事業、大町温泉郷の桜祭りなど新事業のほか、多彩なイベントやスポーツ大会、合宿や観光などにより、交流人口が増加することから積

極的支援をする。
質問 大町市キャラクター「おおまびよん」についての提言。もう1体作製するとの事であるが、

交互に出演させるのではなく、1号2号ツイインズの出演は効果大と思うかどうか。

答弁 現在のキャラクターイメージを大切に効果的なPRを図る。将来的には定着を見極め、家族、妹や弟などのバリエーションを検討する。

質問 教育問題に関して、いじめ、体罰等への対応についてはどうか。

答弁 毎年、いじめに関する実態把握調査を実施、学校の生徒指導委員会等で取り組んでいる。体罰については、実態調査を実施して集約中である。



交流人口400万人にひと役



デイズニーパレードの安全は確保できるのか 神社 正幸

よかった。また来たい。』であり情報発信に努め、新たに「まちナビおおまち」などのサービス、観光地のトイレの整備着手

質問 5月25日に計画されている東京デイズニーパレードは市民も大いに期待する大イベントであり6万人もの来客が予想されるが安全は十二分に確保できるか。責任は誰にあるか。コースの見直しはするか。一過性に終わらせないための計画はされているか。市内に記念行事の垂れ幕、看板ひとつもなく市民への周知、観光客へのアピールも不十分で後手ではないか。

回答 責任は実行委員会である。過去明石市の事故の事例もあり、実行委員会会で検討している。事業の目的は、ダムと市内観光資源をつなぐ、あらゆる立場の方の参加で人をつなぐ、若い世代へのPRなどで未来につなぐを目標に記念事業を一過性で終わらせないため、将来につなぐメニューを考えている。垂れ幕等は25年度予算で設置する。

質問 30回を迎え記念大会のアルプスマラソンの予算を増額すべきである。

回答 予算は、2200万円である。参加費用もあり工夫して行う。

質問 観光都市大町の将来に向け、誘客戦略の構築は予算上からも見えてこない。一歩踏み込んだ観光戦略会議の立ち上げが必要であると考えるが。

回答 市の観光戦略の基本は『来て

など、粘り強く取り組む。

質問 若い世代の思いが反映され、元気なまちづくりが期待できるような少額でハードルの低い助成金制度を立ち上げるべきではないか。

回答 今までの助成金制度で行う。市民サポートセンターで各団体の助成金申請の記載方法、プレゼンテーションの方法など気軽に相談頂き助成金の申請に参加していただきたい。

質問 市の温泉施設に木質ボイラーの設置を考えるべきではないか。

回答 ゆくぐる木崎湖のボイラー交換の際に検討したい。



黒部ダム 50周年記念成功させよう



新幹線金沢延伸はピンチ 高橋 正

ピスの充実について協議を進める。観光協会のあり方について

北陸新幹線金沢延伸について

質問 新幹線長野金沢間は平成27年3月開業の予定である。金沢から東京まで2時間半となり、東京から新幹線を利用して富山へ行き、アルペンルートを通して帰っても、日帰りが悠々と可能となる。新幹線沿線地域ではいろいろな観光の作戦を展開している。新幹線金沢延伸が大町市にとって「チャンス」だという声もあるが、大町市は空洞化し、通過する客は増えても滞在する観光客は減少する最大の「ピンチ」だ。新幹線金沢延伸についてしっかりと分析し、有効な戦略を立てなければならぬ。行政側の認識はどうか。

回答 当市の観光振興にとつて、一層の誘客を計る好機であると認識している。都市部から地方への交通の便が向上する一方で滞在時間が減少し、観光消費の落ち込みをどのように克服するかが新たな課題である。

質問 先ほどのルートで回遊すれば、交通費だけで1人3万8、070円となる。もし大町で1泊して2回の昼食を加えると、1人5万円以上になる。この料金では大町に宿泊することは厳しいと思うがどうか。

回答 立山黒部アルペンルートを周遊する新たな旅行商品を創出するよう働きかけを強化し、料金割引等のサ一

ある大町市観光協会は、法人化することにより独立性・自立性が高まり大きな力を発揮できると思うがどうか。また市内3つの観光協会がひとつに統合され、1つの目標に向かってそれぞれの力を結集し、その施策や動き・成果など、誰にでも見えやすいものにしていく必要があると思うがどうか。

回答 現在協会内で検討を進めている。アメリカよりアメリカのほうが多いとの意見が多い。早い時期に合意形成をし、法人化に向けて具体的な検討に入る。統合については組織の強化と充実のため、今後検討を行う。



建設が進む新幹線（糸魚川地区）



養護老人ホーム鹿島荘 の指定管理は問題あり

平林 英市

質問 養護老人ホーム鹿島荘の指定管理者制度導入について、広域連合の直営では、入所者の処遇や職員の資質向上にならないのか。

答弁 入所者へのサービス向上と職員の資質向上は大へん重要で、広域連合では慎重に検討している。

質問 鹿島荘は社会的な弱者を社会保障の精神で救護入所させている施設で、今までの指定管理とは性格の違う問題が含まれている。社会福祉法人とはいえ、民間に丸投げする根拠は。

答弁 その分野に卓越し、管理運営に優れた実績を持つ社会福祉法人であれば、指定管理者の対象としても問題ない。

質問 指定管理になると議会の監督が大幅に後退するのではないか。

答弁 指定管理者制度を導入した場合でも公の施設であり、議会のチェック機能が阻害されるものではない。

質問 広域連合の職員として採用された職員の身分はどうなるか。調査検討の段階であるのに、職員一人ひとりと面談して圧力をかけるやり方は不当ではないか。

答弁 職員の身分については、特に職員と十分な意見交換を行い、最善の方針が決定されるよう取り組む。

質問 直営と指定管理のメリット・

デメリットを検証した上で、職員の身分保障を確保し、組合に相談するのが順序だ。民間の模範となるべき行政機関が、職

員の退職を迫るやり方は納得できない。

答弁 仮に職場がなくなった場合には配置換えで保障することもある。本人が希望すれば社会福祉法人で働くこともできる。メリット・デメリットを研究し、身分保障を念頭に置き、検討していく。

このほか、社会保障の理念と、生活保護基準の引き下げによる影響、それに関連する最低賃金制度の見直し及び就学援助への影響、福祉灯油実施への考え、国民健康保険制度の問題点など質問した。



指定管理を検討中の鹿島荘



所得と雇用の増加で 地域経済の活性化を

大和 幸久

質問 今日の「デフレ不況」といわれる長期にわたる日本経済の停滞の原因は、国民の所得が落ち込んで消費が減り、企業の売上げが伸びないためだ。強い経済を標榜するアベノミクスは、過去の自公民政権の破たんした政策を並べただけで、デフレ不況打開の展望とならない。2%の物価上昇目標が「物価が上がっただけで、賃金や年金がさらに目減りするのでは」という国民の懸念は深刻だ。国に実効のある対策を要求すると共に、大町市も、可能な限りの所得増加策を行うべきだ。

具休策として、市の正職員と同じ仕事をしながら、処遇は嘱託や臨時職の待遇改善を求めてきたが、本年も実行されていない。そもそも、市長は、問題意識を持っているのか伺いたい。

答弁 同一労働・同一賃金が原則だ。

質問 市長は、今在住する市民が住み続けたいと思う環境整備こそが定住促進の基本といっている。同じ条件・責任で働きながら著しい格差がある。この不正こそ、最優先に改善すべきだ。「同一労働・同一賃金」という基本的事項さえ実現できない大町市が、住み続けたい町となるだろうか。

答弁 松本と大町では賃金格差があり、民間も同様で同じ環境ではない。

質問 学校給食調理業務では、正

職員の採用を行わず、低賃金の臨時職員の配置を行う「立ち枯れ方針」が続けられ、調理業務の民間委託が画策されている。

多くの保護者が求める自校・直営の学校給食を維持すべきであり、安心して子育てできる環境を整備してこそ、若者が安心して暮らせる町づくりにつながる。直ちに改善をすべきだ。

答弁 正職の補充は臨職で対応する。「公契約条例」は公共事業で、の下請け企業へのピンハネ防止やそこで働く労働者の適正な賃金を保証する制度だ。公共施設の民営化でも、そこで働く労働者の適正な賃金水準の確保を契約できるもので、地域経済活性化への波及効果が高い。実行するか。

答弁 県も検討中で推移を見たい。



未来につながる町づくりとは…



インフラマネジメントを早期に作れ

二條 孝夫

質問 市内の橋梁、道路トンネル等のインフラの現状はどうか。今後、老朽化が急速に進むインフラをどのように管理、補修し、予算を計画的に立てて行くか。全インフラに関するインフラマネジメントを作る計画はあるか。

回答 市では市道860km、橋梁348カ所、都市公園7カ所等を管理している。施設の維持管理については、適正を期して行っているが、今後老朽化は急速に進むと予想される。特に橋梁は建設から30年以上たったものが63%に達している。橋の平均寿命は60年といわれている中、一斉に大規模な修繕や架け替え時期を迎える。市は交付金事業を導入し、全橋梁の健全度を把握するための点検調査を実施し、橋梁長寿命化計画を策定した。これまでの事後的な修繕、架け替えから予防的な修繕計画により、橋の長寿命化、橋の架け替え時期と予算配分の平準化と経費縮減を図る。今後50年間で修繕、架け替え費用は67億円と想定されるが、計画的に予防保全的な修繕を実施することで37億円の縮減が見込まれる。インフラマネジメントについては各課と連携を取りながら作成していきたい。



老朽化が進むインフラ

回答 公共事業が地域経済にもたらす影響が大きいことを踏まえて、生活関連道路、水路整備に係わる予算については、

前年度を上回る額を確保した。しかし、建設業を取り巻く環境は厳しいと認識している。今後も、国や県の補正予算の活用を含めて、経済対策効果を視野に入れた公共事業の実施、予算の確保に取り組んでいきたい。とりわけ、比較的災害に見舞われやすい当地域では、災害復旧は重要である。また、冬の市民生活、経済基盤としても不可欠な道路除雪などの体制維持のためにも、建設事業者の果たす役割は極めて重要。こうした観点に立ち、国・県の事業を含め、一定水準以上の公共事業の確保に努めていきたい。



TPPと地域の農業は

竹村 武人

質問 日本の将来を決するTPP交渉参加について、日米首脳会談で「聖域なき関税撤廃が前提ではない事が明確になった」として交渉参加を容認し、正式表明するとされる。我が国の農業における重要品目の除外を必ず実現しなければならぬ。

回答 守るべき国益として①米・麦・牛肉・乳製品・砂糖などの関税撤廃の例外②自動車の排ガス規制安全基準の維持③国民皆保険制度の維持、混合診療の全面解禁を認めないなどを詳細に盛り込み、交渉参加をにらんだ強化策等が必要であるが、当局として地域農業を守るための見解を聞きたい。



育む農業 ニコニコひまわり

状況について、また、先に取り組んだ、集落営農組織の状況と課題を聞きたい。

回答 農業従事者の減少や高齢化、農業所得の減少・農産物価格の低迷、農業資材の高騰など様々な課題に直面している。市として、人・農地プランにおいても中心的な役割を担う集落営農組織の充実により、各組織が地域の中心となつて展開できるように促進を図っていきたい。また、市の集落営農組織の状況は、特定農業法人が2団体、特定農業団体に準じる組織4団体、そば等の転作組織11団体である。経営状況は国の経営所得安定交付金を受けなければ経営が成り立たない状況。今後も国の施策の動向を注視しながら制度の有効活用を図っていく必要がある。



質問 国は、平成25年度から子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチンの接種について定期接種化することにした。子宮頸がん予防ワクチンの副反応とはどのようなものか。

答弁 発熱や失神の発生事例があることを公表している。

質問 杉並区で2011年にワクチン接種を受けた生徒に重い副反応があった。体中の激痛、しびれ、歩行困難、文字が書けなくなる等、被害者は長期間学校に通う事ができず苦しみ続けた。2009年8月19日の米・ニューヨークタイムズの記事には、メルク社の「ガーダシル」接種後の死亡報告が20件以上と報告している。国内では厚生労働省のHPには、サーバリックス販売開始時からの累計で医療機関からの報告では、956件、うち死亡者1名を含む重篤85件。この様な死亡者を含む重篤患者がでてくる危険性をしっかりと伝えるべきではないか。

答弁 子宮頸がんワクチンだけに副作用が多く、特別に危険であるわけではない。

質問 バイオマスエネルギー導入について

質問 私は一般質問などの機会に、公の施設に木質バイオマスエネルギーの導入を提案してきた。「ほかほかランド美麻」に新やチップなど、灯油で

ないボイラーを導入しないのか。
答弁 化石燃料ボイラーとの併用が不可欠である。外部にストッカー

ドを含めた施設整備が必要。燃料の確保や供給体制が不透明であること。導入事例が少ないので、故障やメンテナンス対応への不安が大きい。

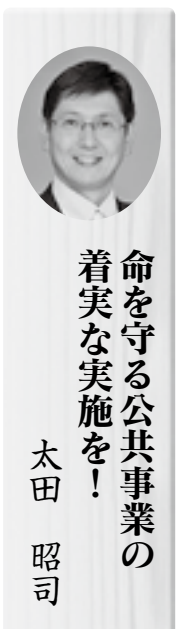
質問 初期投資では、灯油ボイラーを入れた場合と薪ボイラーでは年45万円ほどの差であり大きな問題ではない。

一番の問題は木材の安定供給であり、業者に投げかけるべきではないか。市長は、木材の供給体制を大北全体で検討すべきではないのか。

答弁 木材の供給については、大北林業創生協議会で検討を始めている。



リスクを承知の上での接種を



質問 昨年6月議会で私は公共施設の総点検を提言した。その後、市は「公共施設のあり方」についてどのような検討、取り組みを行っているか。

答弁 中長期的な視点に立つて将来的な施設のあり方を検討する必要がある。市としても、ファシリテイマゼジメントの導入を視野に入れ、現在、道路や橋梁等のインフラを除く全ての公共施設について施設台帳の整備を進めており、新年度からは施設台帳のデータベース化を図っていく。

質問 この度、「大町市橋梁長寿命化修繕計画」が策定された。今国会でも、老朽化した社会インフラの総点検について議論されたところでもある。「大町市橋梁長寿命化修繕計画」の内容は。

答弁 市は平成21年度から本計画の策定に向け、調査点検を実施してきた。本年度は、市が管理する全橋梁348橋について、判定された健全度を基に、緊急度、優先度を考慮し、今後50年間の長期的視野に立った計画を策定した。コスト削減も考慮し、「予防保全」を主とした計画とした。

質問 本年4月に「障害者優先調達推進法」が施行される。景気の低迷する今日、障がい者就労施設に対する仕事の依頼は減少している。また国や

自治体の競争入札において、障がい者就労施設が他企業と競争し契約を勝ち取ることは困難である。そこで、市もこの法律に

従い、ぜひ「障がい者就労施設」から積極的に物品やサービスの購入を行うよう強く要望する。

答弁 大町市内において、障がい者就労施設を運営している事業所は5事業所、このうち自主製品を生産している施設は3カ所であり、菓子及びパン、藍染め製品、せっけん、ほかし製造を行っている。市はこれまで、障がい者就労施設に、ラベル貼り等を発注したり、庁舎内に自主製品の販売場所を提供してきた。今後、調達物品として可能な製品の有無などについて検討を進め、調達方針を作成していく。



インフラの計画的な維持管理を



市民バスふれあい号は 現状維持

中牧 盛登

質問 大町市地域公共交通総合連携計画を策定した目的は何か。

答弁 市民のニーズに応えた利便性の高い持続可能な公共交通の実現を図るためには、現在の公共交通を新たに見直す必要があるからこの計画を策定した。

質問 大町市の公共交通の課題は、利用者数の減少が大きな課題である。

質問 この計画に示されている公共交通の将来像とは何年後なのか。

答弁 15年後を見据えている。

質問 大町市内には、何カ所位の交通空白地域が存在するのか。

答弁 この計画の中では2カ所、秋葉林地域と野口周辺を交通空白地域としている。

質問 交通空白地域をどの様に解消する考えか。

答弁 現在の市民バスを路線延長することを考えている。

質問 利用者（高齢者）にとってバス停まで歩いていける利用可能な距離とはどのくらいか。

答弁 約500mを考えている。

質問 観光客に対して、効果の見込める交通対策とは、どのように考えているのか。

答弁 特急バス長野・大町線の持続

とバス料金の見直しを考えている。

質問 市民バスふれあい号は、当面現状を維持することとしているが、

定時定路線型バス交通のサービスは、限界が来ているのではないか。

答弁 定時定路線型バスの限界を力バにするためにも、利便性を高める工夫を考えていきたい。

質問 大町市地域公共交通総合連携計画に対する牛越市長の感想は。

答弁 おおむね妥当な計画が策定されたと考える。

質問 大町市にふさわしい、新しい公共交通体系を明示した計画であるとは思えない。市長は公共交通総合連携計画を見直す考えはないのか。

答弁 この計画を見直す考えはない。



望まれる公共交通へ地道な改善を



臭気規制導入と 泉地区の問題は

松島 吉子

質問 全農とJA大北がSPF豚の堆肥舎を八坂三原地区に建設する計画は、地元住民らの反対運動で中止になった。松本市では、悪臭防止法に基づき規制を平成15年9月に物質濃度規制から、臭気指数規制に変更した。大町市でも市内全域を対象に臭気指数規制を導入する考えはないか。

答弁 臭気指数による規制は、全ての事業活動が対象となるので規制地域及び規制基準の設定は慎重に行う必要がある。早急に検討したい。現在、環境審議会の意見を待っているところで審議会では今月中を目途に一定の方向を示したいとしている。臭気の現況調査を実施し、市民や商工団体等の意見も伺いながら導入に取り組みたい。

質問 常盤泉地区で廃棄物処理施設の新規事業計画があり、住民説明会も行われている。市はこの計画をどの程度認識し、どのような対応を考えているか。

答弁 柳湯浅産業が泉地区の工場で、安曇野市内で生産した堆肥を袋詰めしているが、工場を改修し、新たに汚泥等を受け入れ、堆肥を製造する設備を既存の建屋内に設置するというもの。法律や県条例に基づく許可を必要とせず、地元合意が必要ない施設と聞いている。泉自治会及び事業者双方から

相談があり、市としては現状の袋詰め工程で発生している悪臭苦情の解決が先決だと指導している。平成21年11月に泉地区と

業者の間で公害防止協定を締結しており、事業内容を変更する際には地元合意に達しなければ施工できないと定められているので、合意しない限り着手しないよう指導している。現在の悪臭もいまだ解決されていないため、引き続き泉自治会と連携をとり改善指導していく。新規予定の事業は、明科地区で相当の悪臭公害を発生しており、現状のまま移転の計画があれば、市としても強く反対していく。

ほかに、市独自の歯科健康保健計画策定、小水力発電の拡大と地域自然エネルギー基本条例、政府の憲法改定への動きについて市長の見解をただした。



臭気が心配される泉地区の会社

委員会審査報告

総務文教委員会

議案第27号「平成25年度大町市一般会計予算」の審議では、歳入で、法人市民税の減少が続いている事に関して「今後の税収見通しについて、予算編成ではどのように判断したのか」という質疑があり、行政側から「長引く景気低迷、デフレ経済の進行などで経済状況は低水準が続いており、税収動向は依然厳しい見通しだ。電力関係や製造業など当市の主力産業で落ち込みが大きく、24年度中に25の法人等が廃止・休止に追い込まれた。また景気対策の一環として法人税率の引き下げ政策がとられており、税収面ではマイナスとなる。国の経済対策による期待感が先行しているが、国全体の景気が上向いたとしても、税収面を含め当市への影響はもう少し先になると推測している」との説明がありました。

総務部関係では「定住促進について、定住促進アドバイザーの意見をどのように反映しているか」との質疑があり、行政側から「定住促進アドバイザーからは、多様な観点から意見をいただいている。当市での田舎暮らし、豊かな自然、人情などの魅力を強くアピールすべきとの意見も多く、長期的な視野で取り組みたい」との説明がありました。議員間で討議を行い、「働く場を市内外に広く求めること、子育て世代

や障害者などへの支援体制の充実、都市部の方が、当市にいたく魅力や移住の決め手となる要件などを把握し、大町市ならではの目玉施策を用意して腰をすえて取り組んでほしい」などの意見がありました。

教育委員会関係では「山村留学について受け入れ農家の高齢化」などについて質疑があり、教育委員会からは「農家での宿泊体験などが山村留学の原点であり、受け入れ先を募る。生徒数の減少が顕著な八坂・美麻地区では山村留学に対する地域の思いや課題を十分に認識しながら特色ある学校づくりに取り組むみたい」と説明がありました。



企画財政課窓口

社会厚生委員会

議案第27号「平成25年度一般会計予算」のうち、当委員会に付託された主な審査内容と決定事項を報告します。

美麻福祉企業センター建設の内容は

福祉課所管事項で、今回美麻二重地区に新たな福祉企業センターを建設するための設計委託費510万円の予算計上について、行政側からは「福祉企業センターは生活困窮者や社会的弱者に対し就労の場を提供するものであり必要な施設。現在、美麻地区に2カ所施設があり、統合して新たな場所に1カ所として集約し、効率の良い施設を作りたい」との説明がありました。委員から「人口減少の中で今後未使用の施設も出てくる。7、500万円もかけて新たな施設を作る必要があるのか、仕事の受注はあるのか」など様々な意見が出されました。採決の結果、必要な施設として全会一致で原案を可決しました。

請願第10号・陳情第19号意見分かれる

請願第10号「生活保護基準の引き下げをしないことを求める意見書提出」については、委員から「生活保護基準の引き下げは、最低賃金、就学援助制度、国保制度など様々な分野に影響が出る。生活保護受給者だけでなく、多

くの市民にも負担になる。採択すべきだ」「現段階では改正内容も詳細が固から示されておらず、現状の把握や改正による影響が想定できない。慎重な対応が必要。継続審査とすべきだ」との意見が出されました。審査の結果、賛成多数で継続審査となりました。陳情第19号「年金2・5%削減の中止を求める陳情」は、「年金額を据え置いたのは政府の責任であり、物価の上昇が予想される中で年金を引き下げるべきではない。願意を認めて採決すべきだ」「年金の引き下げは歓迎すべきことではないが、まずは特例水準の解消が必要だ。不採択にすべきだ」とのそれぞれ意見が出されました。賛成少数で不採択となりました。



美麻福祉企業センター

● 委員会審査報告

産業建設委員会

議案第4号「市道路線の廃止及び認定」は「市道を廃止する際の考え方」についての質疑があり、「現在廃止する際には、申請者以外に不利益が生じないかどうか、周辺の土地所有者に同意を得るなど慎重に対応を行っている」との答弁がありました。議案第10号「市道の構造の技術的基準を定める条例制定」は「歩道の幅員は規定されているが高さはどのように考えているか」との質疑があり、「今後整備する歩道については、道路の路肩と歩道面を同じ高さとするフラット方式か、道路からの浸水を防ぐため路肩より5cm程度上げたセミフラット方式を原則としたい」との答弁があり、「地域によっては、フラット方式では降雪時に歩道の除雪に支障が出る箇所があることを考慮すべきである」との意見が出されました。議案第15号「雇用促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定」は「連帯保証人は大町市民に限定されるか」との質疑があり、「今回の条例改正と合せて施行規則の改正も予定しており、連帯保証人はこれまで、市内在住で、2名のうち1名は3親等以内の親族という要件を設けていたが、これを廃止する。市内から転入する場合連帯保証人を探すのが難しい」ということから、雇用主が連帯保証

人となることを可とし、添付書類を見直し、入居時にかかる負担を軽減したい」との答弁がありました。議案第16号「都市公園条例の一部を改正する条例制定」は「都市公園の市民一人あたりの敷地面積」について質疑があり、「現在市内には7つの都市公園があり、市民一人あたりの敷地面積は11・3㎡である。国または県が定める都市公園も含めてよいこととされており、常盤地区の国営公園を含めると37・8㎡となる」との答弁がありました。



社地区雇用促進住宅

議長の一言

3月議会を終えて

3月は年度末であり、一つの節目であります。締めくくりの時と同時に、次のステップに向けた仕切り直しのときでもあります。

3月定例会では、平成25年度予算が主な審議事項であり活発な議論が交わされ、新年度の方向が決まりました。行政の執行責任と議会の子チェック機能が果たされ、市民に評価される行政運営となることを望みます。

また、市内小中学校では卒業式が挙行されました。学校や仲間との思い出を胸に大きく羽ばたこうとしている卒業生の姿を見たとき、新年度の大きな可能性に期待をしたいと思います。



2月臨時会

「さざなみ」の指定管理者決まる

平成25年2月14日、2月臨時会が開会されました。

報告案件1件、事件案件1件、予算案件1件で、すべて原案どおり可決されました。

主な案件は「大町市ふれあいセンターさざなみの指定管理者の指定について」で、公募により4者の中から、公の施設指定管理者選定委員会における審査により、選定されました。指定管理者は、株式会社ポップに決定し、平成25年4月1日から平成28年3月31日までの3年間の契約です。さざなみは八坂川手地区における地域振興の拠点であり、早期に再開することによって、地域の活性化が期待されます。

3月定例会 賛否が分かれた議案

○…賛成 ●…反対

議案番号	案 件	議決の結果	議員名																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
議案第27号	平成25年度一般会計予算	可決(賛成多数)	○	○	●	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	平成25年度公共下水道特別会計予算	可決(賛成多数)	○	○	●	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	平成25年度農業集落排水事業特別会計予算	可決(賛成多数)	○	○	●	●	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	平成25年度公営簡易水道事業特別会計予算	可決(賛成多数)	○	○	●	●	長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	平成25年度温泉宿泊施設事業特別会計予算	可決(賛成多数)	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例制定	可決(賛成多数)	○	○	●	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

3月定例会 全会一致で可決された議案

議案第3号	大町市土地開発公社定款の変更について	議案第21号	平成24年度公共下水道特別会計補正予算(第3号)
議案第4号	市道路線の廃止及び認定について	議案第22号	平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
議案第5号	選挙管理委員会及び議会等の要求により出頭した者等に対する実費弁償支給条例の一部を改正する条例制定	議案第23号	平成24年度公営簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
議案第6号	特別会計条例の一部を改正する条例制定	議案第24号	平成24年度水道事業会計補正予算(第2号)
議案第7号	体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第25号	平成24年度温泉引湯事業会計補正予算(第2号)
議案第8号	保健センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第26号	平成24年度病院事業会計補正予算(第3号)
議案第9号	霊園設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第28号	平成25年度国民健康保険特別会計予算
議案第10号	市道の構造の技術的基準を定める条例制定	議案第29号	平成25年度後期高齢者医療特別会計予算
議案第11号	大町市の移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する条例制定	議案第34号	平成25年度水道事業会計予算
議案第12号	市道に設ける道路標識の寸法等を定める条例制定	議案第35号	平成25年度温泉引湯事業会計予算
議案第13号	大町市準用河川管理施設等構造条例制定	議案第36号	平成25年度病院事業会計予算
議案第14号	市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定	議案第37号	平成24年度一般会計補正予算(第12号)
議案第15号	雇用促進住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定	議案第38号	平成24年度公共下水道特別会計補正予算(第4号)
議案第16号	都市公園条例の一部を改正する条例制定	議案第39号	公平委員会委員の選任について
議案第17号	市立大町総合病院医師研究資金貸与条例の一部を改正する条例制定	議案第40号	教育委員会委員の任命について
議案第18号	市立大町総合病院医師研修資金貸与条例の一部を改正する条例制定	議事第1号	大町市議会委員会条例の一部を改正する条例制定
議案第19号	平成24年度一般会計補正予算(第11号)	議事第2号	大町市議政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第20号	平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	議事第3号	大町市議会基本条例の一部を改正する条例制定

2月臨時会 全会一致で可決された議案

議案第1号	ふれあいセンターさざなみの指定管理者の指定について	議案第2号	平成24年度一般会計補正予算(第10号)
-------	---------------------------	-------	----------------------

請願・陳情審査結果

採択	不採択	継続審査
<ul style="list-style-type: none"> ○陳情第2号 道路・水路の整備等について(二口町自治会長 他3名) ○陳情第3号 道路・水路等の改修に関する陳情(海の口自治会長) ○陳情第4号 道路・水路の整備等について(借馬自治会長) ○陳情第5号 路面排水兼用水路の改修に関する陳情(大黒町自治会長) ○陳情第6号 道路・水路の整備等について(稲尾自治会長) ○陳情第7号 悪臭防止法に基づく臭気指数による規制の導入について(清水自治会長) ○陳情第8号 道路・水路の整備等について(北原町自治会長) ○陳情第9号 道路・水路の整備等について(大原町自治会長) ○陳情第11号 関田地区の生活臭盤整備に関する陳情(関田自治会長) ○陳情第12号 道路・水路の整備等について(曾根原自治会長) ○陳情第13号 道路・水路の整備等について(山下自治会長 他10名) ○陳情第14号 道路・水路の整備等について(館之内自治会長) ○陳情第15号 道路・水路の整備等について(松崎自治会長 他1名) ○陳情第16号 道路・水路の整備等について(宮本自治会長) ○陳情第17号 道路・水路の整備等について(高根町自治会長) ○陳情第20号 道路・水路の整備等について(西原自治会長) 	<ul style="list-style-type: none"> ○(平成24年)陳情第53号 広域ゴミ処理場用地選定についての陳情(山下自治会長) ○陳情第19号 年金2・5%削減の中止を求める陳情(全日本年金者組合長野県本部大北支部支部長 他1名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○請願第10号 生活保護基準の引き下げをしないことを求める意見書提出についての請願(大北生活と健康を守る会)

議会傍聴

3月5日（一般質問1日目）に、大町北小学校6年生の児童が、社会科学科公民授業のまとめとして、市議会傍聴にきました。
身近な課題を議論している市議会の様子について、様々な感想をいただきましたので、一部ご紹介します。



大町北小学校6年生

市の目標の一つにある「交流人口400万人」というのは、大町市の活性化のためには、すごくいいと思いました。ただ僕らは、今日の傍聴で初めて聞いたのでそういうのもっと、PRした方がいいと思います。

特にいじめや体ばつについて考えていてくれるとは思っていませんでした。大津で起こったいじめからの事で市会議員のみなさんが真剣にやってくれていることがよく分かりました。

おおまびよんのことでは、おおまびよんの中に入っている人の体調をしんばいしたりして、市長さんは「すごいな～」と思いました。なぜかという、市長さんは大町市のことを色々やったりしているからです。もし、大町市長になったら、いまの市長さんのようなことをしてみたいです。

市議会には議長や市長など、たくさんのえらい人たちがいて、びっくりしました。初めの質問に答える時に、市長さんができてすごく楽しみでもあり、きんちょうもありました。議会をしている間は、すごく静かで真んかにやっている様子がとてもよく分かりました。

今日、議会を見に行きってわかったことは、議員の人がぼくたちがどうしたら楽しく暮らせるかをみんなで相談してくれていることです。そのように議員の人達が市民の思いをわかってくれるので、ぼくは毎日がこんなに楽しいんだと思います。

議場の雰囲気重かった。もう少し小規模なことだと思っていたけど大勢の人がいて驚いた。難しい言葉がたくさんでよく分からなかったけど、議会の仕組みが分かってよかった。

最初は、ぼくも、さんせいだったけど、それにしつもんする人の意けんを聞いて、こういう考え方もあるのかと思いました。こうやっているいろいろな人の意けんを取り入れて、大町市はなりたっているんだなと思いました。

いけんを書かせていただきます。交流について、ここの近くにある山を、しぜんのままアトラクションパークなどにしたらいかがでしょう。

議会を初めてみたんですけど、予想より人がいっぱいいました。あと、やじとかが、とんでくるのかとおもっていたのですが、あんまりとんでこなくて、平和的でした。議長室とかは、緊張感がただよっていて、なんかこわかった。

あなたも市議会を傍聴してみませんか

大町市議会傍聴規則に基づき、本会議・全員協議会・各常任委員会の傍聴ができます。詳しい日程等については大町市ホームページ、または議会事務局までお問い合わせください。

大町市議会事務局 電話 0261-22-1139

次の定例会は
平成25年6月です。

「地域高規格道路の 早期整備を求める意見」 知事へ提出



高速交通網対策特別委員会は、地域高規格道路の整備に関する調査・研究を続けていますが、一刻も早い松本系魚川連絡道路の整備促進を望む強い思いから、県に対し要望を行うため、12月定例会に議事第9号として、松本系魚川連絡道路の整備に関する意見書を提案し議決、それを受けて1月18日、正副議長と高速交通網対策特別委員会（委員6名）が県庁を訪れ、阿部県

知事と平野県議会議長に意見書を提出しました。市議会単独での松系道の陳情は初めてということと、県知事との懇談の中では「大北への高規格道路の必要性は十分承知している。地域の熱い思いも十分に伝わっている。県としても馬力を上げて取り組みたい」と前向きな話をされました。私たちとしても早期着工に向け、精力的に進めていくことに意を強くしました。

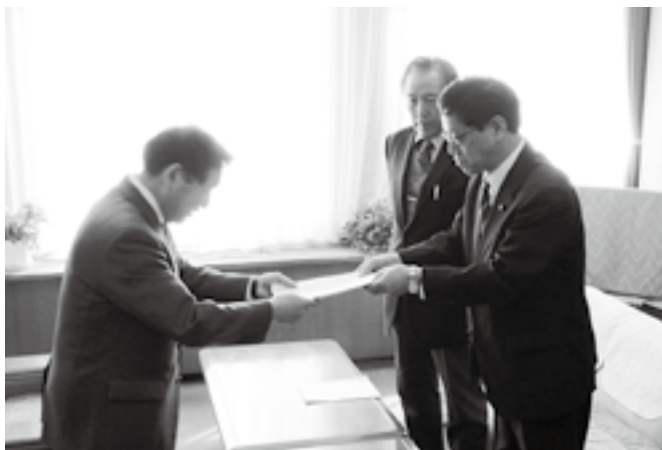
観光対策特別委員会中間報告

観光政策10項目を市長に提出

観光対策特別委員会は、観光による地域振興のあり方について、調査・研究・提言を目標として、平成23年6月22日に設置されました。

近年大町市の観光は、厳しい状況にあります。市が後期5カ年計画に掲げている「定住人口促進」と「人口3万人」の維持、また「観光客を含めて交流人口400万人」といった目標を実現するためには、経済波及効果の高い観光産業の再興が効果的だと思われます。また、黒部ダム観光の入りこみ数は2年連続で100万人を割ってしまいました。黒部ダム観光以外の観光も、低落傾向を続けています。今後低落傾向の根源的な原因究明と対策がなされなければなりません。

そこで本委員会では中間報告として10項目の提言にまとめ、3月26日、市長に提出、対応を求めました。



観光対策 10項目 提言趣旨

- 黒部ダムの知名度を上げるため、秘境の厳冬をメディア等に公開すること。
- 黒部の観光資源を、より具体的に発掘や活用方法を検討すること。
- 観光協会法人化の議論を活性化させ、なるべく早く結論を出すこと。
- 観光客のニーズに合った具体的な支援方法を実践すること。
- 木崎湖周辺道路の全線開通と整備、また青木湖・中綱湖の環境整備を進めること。
- すべての観光企画に関し、事業評価を確実に行うこと。
- 国営公園の企画が市内観光に相乗効果をもたらす戦略を考えること。
- 北陸新幹線金沢延伸が、大町の観光振興につながるかどうか詳細な検討をし、黒部ダム観光に係る料金体系の見直しをすること。
- 「松本系魚川連絡道路」について、なおいっそう働きかけを強めること。
- 観光大使のキャラクターや経歴を活かして、具体的・効果的な作戦を立てること。

「大町市を愛する女性の会」の

意見交換会報告

意見交換会

平成25年2月16日大町公民館分室において、大町市を愛する女性の会7名、議員5名が出席し、同会松澤郁子会長の「市民の声を届け、学びの場としたい」との挨拶で意見交換会が始まりました。
市議会からは、大町市議会災害対策支援本部行動指針、介護保険制度、議員定数等検討委員会の内容について説明を行いました。
意見交換会の主な発言内容は以下のとおりです。

- 防災行政無線の放送が聞こえにくく、緊急放送時には具体的な番地・氏名の放送を望む。
- 避難場所の適地、避難手段、高齢者対応等、今後再検討が必要。表示方法は横文字でなく日本語表示に変更を望む。
- 大町ダムの安全性について、最低限の安心安全の数値化を望む。
- 介護施設の視察を実施するなど、家庭介護・男性の介護従事者の実態を知ることが必要。
- 介護について、終末期ホスピス病棟があればと願う。
- 議員定数等の答申を12月までと、期限を定めたことは大いに評価する。
- 女性リーダーの研修養成機会支援。女性を各種審議会、公的機関の議員等人数を割り当てるクォータ制の導入を求める。



などの意見や要望が出され、さまざまな意見交換が行われました。
今後、行政へ伝えるもの、議会として検討すべきものに分け、対応していきます。

参加人数(74名) アンケート回収数(28)

1. 開催時期について	計
(1) 現行どおり決算議会である9月定例会後でよい	26
(2) その他の時期がよい	1
回答なし	1

【具体的な意見】

- ・決算が出ているから、現行どおりでよい。
- ・7、8月頃が良い。日が短くなって、11月の7時では遅いと思う。
- ・休日の夜間は他の会議がある。

2. 開催日時について	計
(1) 現行どおり平日の夜間でよい	23
(2) 平日の昼間がよい	2
(3) 休日の昼間がよい	2
(4) 休日の夜間がよい	1
(5) その他	0

3. 開催場所及び回数について	計
(1) 現行どおり各地区1箇所、全6回程度の開催でよい	24
(2) 市域全体で1回程度の開催でよい	1
(3) 開催場所や回数をもっと増やしてほしい	2
回答なし	1

【具体的な意見】

- ・市民との意見交換を増やすために、開催場所や回数をもっと増やしてほしい。

平成24年度

市民との意見交換会 アンケート結果

昨年行われた「市民との意見交換会」の、アンケート結果がまとまりましたので報告いたします。
これらの意見は今後の意見交換会や市議会活動の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

4. 意見交換会の運営方法、希望するテーマについてご意見、ご要望等あればご記入ください。

- ・参加人数が非常に少ないので、多くの人に参加できる仕組みを考えてほしい。
- ・観光事業をもっと考えてほしい。
- ・広報だけでは周知できないので、自治会等通じて多くの人が集まる工夫をして欲しい。
- ・地区からの意見を聞くため数多く企画してください。
- ・せっかく議員が来ているのだから、おさえる答弁でなく、つなげる会にしてください。
- ・TPP、その他農業に対して農協との強力な連携を望みます。
- ・なぜ、議会との意見交換が必要なのか、市民に理解されていないのではないのでしょうか。
- ・決算について、概要についての話より、その問題点を話してもらいたい。
- ・市議会よりテーマがあれば、逆に私共の意見を聞いてもらってもいいです。

5. 本日のご感想、その他市議会に対するご意見、ご要望等ありましたらご記入ください。

- ・4人の議員が出席されていたが、質問に対してていねいに答えていて良かった。
- ・決算の説明が、示された議会だよりと違って理解できなかった。
- ・各戸配布の広報は必要です。情報は記録になり、歴史になります。読みたくなるような紙面づくりが望まれます。
- ・神明原の臭気問題は本腰を入れて解決しなければなりませんね。
- ・市政功労者の表彰式を近年アップロードでやっていますが、市の施設でも可能です。アップロードは使用料がかかります。
- ・自由に議員さん方へ悩みを聞いてもらう会でよかった。
- ・行政的な内容についての質問が多く出る点から、行政の担当者にも出来たら参加される事も一考を。(主としては議会との意見交換会であるが。)
- ・自治会によっては入会していない家庭が40%という事はとても大変なことです。行政を通してもっと入会することを考えて欲しいと思います。
- ・大変勉強になりました。毎年やって欲しい。
- ・議員定数、報酬について。基本的に大町市の現状は適切であると考えます。議員の仕事内容は、やはり「行政のチェック」が主要である訳で、その意味では多くの目でチェックする方が良いと考えます。また、報酬についても、もちろん世間並というか、一定の水準はあると思いますが、行政への厳しいチェックをしてゆけば、無駄な支出が減る訳でもあり、必ずしも報酬を減額することが良いとも思えません。
- ・今回お聞きをした、「議員活動実態調査」などの実施は、議員諸氏の自らの活動を見直す為の行為であると思ひ、こうした方向で議員諸氏が活動していただけるなら、むしろ政務調査費なども含め上昇させても良いのではないかと考えます。
- ・昨年より参加人数、意見の多様性、交換は前進しています。市民と議会、行政の溝をうすめていく活動として必要だと思ひます。
- ・活発な意見がでたが、個々の市議の意見が多すぎ。住民の意見をもっと聞く懇談会にしてほしかった。

西小学校6年生

「子ども議会」開催



1月22日、大町西小学校6年生52人は議場において、「子ども議会」を開催しました。

総合的な学習及び社会科の学習の総まとめとして、議長役には北澤楓花さん、清水玲香さん、荒川菜緒さんが務め、日頃疑問に思っていることを児童全員が議員役になって質問し、牛越市長はじめ、理事者部課長が答弁をするなど、本番さながらの模擬議会となりました。

今は中学生となった6年生ですが、これをきっかけに市政に関心を持ち、自分たちが住んでいる大町市のまちづくりに大いに興味を持っていただけたらと思います。(全て敬称略)



なぜ西小だけが第一中学校と仁科中学校に分かれて進学するのですか。(北澤璃子)

西小の校舎は一中と仁科台中の中間にあり、片方の中学校だけに入学

すると、2つの中学校の人数のバランスが悪くなってしまう。西小の卒業生を分けることによって、中学校のバランスを取っています。(教育長)

西小の桜並木を保護する人を増やしてください。(傳刀愛梨)

市や学校や地元の皆さんや「西小の桜を守る会」の皆さんで手入れをしています。皆さんが卒業しても一緒に桜を守ってください。(教育次長)

仁科台中学校の制服を変えてほしい。(倉科海藍)

中学生の皆さんは現在の制服に愛着をもっていて、新しい制服に替えてほしいという要望は特に聞いてないそうです。もし制服を替えたい方がいいと考えるなら、中学校の生徒会で話し合い、先生方や保護者の皆さんとも相談して進めていくのが良いと思います。(教育長)

市内の小学校の夏休みを増やしてほしい。(飯島克也)

学校へ登校する日数は、法律で決められている授業時間を基にして、行事なども考え、各学校が決められています。夏が暑い地方では、夏休みを長くする傾向があり、長野県は年度末の休みを少し長くしてその分夏休みを短くしています。そうしたことで地域や学校によって違いがあります。(教育長)

大町高校と大町北高校はどうして合併するのですか。そしてどのような高校になるのですか。(齋藤 斗・草間皓紀)

子供たちの数が年々減少しています。今の高校の数をそのままにしておくと、入学する生徒や先生数が減り、高校に活気がなくなり、しっかりと授業が出来なくなってしまう。そこで、大町高校と大町北高校を一つにして新しい高校にすることを決めました。現在までに決まっていることは、①平成28年4月開校②校舎は現在の大町高校の校地とする③校舎の大部分は新築とする④1学年のクラス編成は普通科4クラス・学究科2クラスの計6クラスとする、などです。新しい学校の名前や校歌、校章、授業の進め方などについて検討しています。(市長)

商店街はシャッターが閉まっているところが多いですが、にぎやかに明るくするために私たちができることはありますか。(豊岡里沙・神谷美月・西澤萌海・長屋颯太・山本篤也・窪田拓真)

①商店街が元気になるアイデアを出す②商店街の行イベントに積極的に参加する③商店街を歩いて小さな公園や珍しいお店など新しい発見をする、これら3つのことが商店街を元気にする方法だと思いますので、皆さんぜひ協力してください。(産業観光部長)



Q 市宮の子供用品専門店やリサイクルショップ、駄菓子屋、スポーツ用品店を作ってほしい。(北澤愛乃・太田公仁・柳澤祐樹・縣瑞樹・松下弓華)

A 市の仕事は法律や条例といったきまりの中で行うことになっているので、市が営業するお店を作ることは難しいです。商店街で新しいお店を作る計画があれば市も進んでお手伝いします。(産業観光部長)

Q 大町病院の待ち時間が長いので早く対応してほしい。(石岡将人)

A お医者さんたちは患者さんを長い時間待たせないように一生懸命診察をしていますが、救急の患者さんや、重症の患者さんなど、他の人を優先して診察しなければならぬこともあります。少し待つてもらうこともあることを分かってください。(病院事務長)

Q 皆さんと相談して街灯の設置について相談していきます。(総務部長)

Q 黒部ダムや大町ダムの電気は大町の人たちは使えないのですか。(吉原南・工藤涼)

A 黒部ダムは、関西地方で必要とする電力を生み出すために関西電力が建設した施設ですので、大町で使わず関西地方に送っています。また東京電力が関東地方に電気を送るために建設された高瀬・七倉ダムについても同様です。皆さんが使っている電気は、中部電力が建設した発電所で発電された電気が供給されています。(総務部長)

Q 大町にはきれいな水がたくさんあるのに、なぜ水道料を払わなければならないのですか。(西澤彩夏)

A 大町の水は自然に山の麓からわき出てくる「わき水」を利用し、そのまま飲むくらいとてもきれいです。しかしそれを、住んでいる場所まで水道管を引いて運び、さらに安全に安心して使える水を供給するために、水道管・配水池などの施設の整備や管理、修繕をするためにお金が必要となりますので、皆さんから水道料金をいただいています。(建設水道部長)

Q 通学路の道幅が狭く、道路周辺の草刈りもされていないので改善してほしい。(宮本佑・宮本惇)

A 市では全地域を対象に通学路の緊急点検を行い、危険箇所を順番に直しています。また「グリーンベルト」と呼ばれる方法や、西小周辺では「ゾーン30」と呼ばれる時速30km以下で運転する区域を決めるなど、安全対策を行っています。(市長)

Q 町の中の街灯が少ないので活性化と防犯面からも増やしてほしい。(須澤映利香・高橋楓果)

A 現在防犯のための街灯は各地区の皆さんによってきちんと灯りがつくように管理されています。町の街灯が少なく、夜暗い所があると教えていただきましたので、その地区の

紹介できなかった質問

氏名	質問要旨
佐藤 悠真	西小学校のグラウンド整備について
田中 君治	温水プールについて
倉科 俊介 千原 大空	体験型歴史館の整備について
佐竹 哲寛 鳥屋 匠吾 西澤 早紀	陸上競技場などの整備について
山口 慶悟 高橋 佑菜	特産品のお店や道の駅について
笠原 大暉 黒岩 優花 関谷 侑香	大町市の魅力づくりとPRについて
小林 大滉 五味 千蘭 田上 蘭歌 齋藤 歌鈴	楽しい公園などの整備について
一柳 陽輝 洞澤 光 辰巳 いつ佳	大町市の魅力づくりとPRについて
松原 聖将 望月 絢翔	市の賑わいづくりについて
原 拓未	下水道について
奥村 水貴	少子高齢化と今後の大町市について
清水 玲香	税金の使い道について

研修で学んだことを 紙面に活かす



議会だよりについてアドバイスをいただきました。最近の大町市議会の議会だよりを事前に送ったところ、詳細なご提案をいただきました。その概要です。

全体的にはとても良くできている。もっとページ数を増やしてスペースを確保すべき。言葉の使い方に間違いがある。内容を表した、もっと魅力的なタイトルをつけるべき。それが大切な記事かを基準に順番、ペー

ジ数を決める。予算、決算は円グラフを使って、もっと分かりやすいものにすべき。「焦点」は文責がはっきりしないので載せるのはどうか。請願・陳情の結果をもっと詳しく載せるべき。写真公募や市民の声を公募するなどして、市民参加の機会を増やすべき、などです。

翌13日は、甲斐市議会に伺いました。議会だよりに広告を載せており、値段や広告のとりかた、表紙の写真の公募の方法、市民の声の集め方など、具体的な方法を学びました。

今回研修で学んだことを、この議会だよりから徐々に反映させていきます。

平成25年2月12・13日、山梨県身延町と甲斐市において議会だより編集委員会の研修を行いました。
全国的には、多くの市議会の議会だよりは職員が編集していますが、大町市議会では長年、議員による自主編集を行ってきました。議会の仕事を、市民の皆さんにお知らせする重要な作業です。より分かりやすく、また関心をもって読んでいただくために、定期的に先進地を研修し、学んだことを活かした紙面づくりを行ってきました。

12日の研修は、身延町役場をお借りして、身延町議会議員として長年議会だよりの編集に携わり、現在は議会だよりコンサルタントとして活躍している深沢徹氏に大町市議会の

議会だより編集委員会 ごあいさつ

私達9名での「議会だより」は今回で最後になります。次回より「議会だより」を新しい議員で作成することになります。今まで分かりやすいページ作成を心掛けてきましたが、いかがだったでしょうか。新メンバーでの次号をご期待ください。



委員長：八木 聡
副委員長：堀 堅一
松島吉子 太田昭司 二條孝夫 神社正幸
高橋 正 大和幸久 小林治男

編集後記

芽吹きの春を迎え、陽ざしは日ごと強くなっています。東日本大震災の被災地では2度目の春を迎えました。3月11日前後には報道特別番組が組まれました。津波で被害を受けた地域は、がれきは片付けられてはいるものの2年前の様子と変わらず、時間が止まっているように思います。依然として30万人を超える人たちが仮設住宅や故郷を離れて暮らしています。

福島第一原発は未だ事故処理のめどが立たず、危険な状態が続いています。3月18日には電気系統の故障で、使用済み核燃料プールの冷却ができない事態が発生しました。終わりの見えない放射能汚染の恐怖が払しょくされていません。被災地の皆さんを励まそうと沢山の人が行動していますが、公の力で被災者に寄り沿った復興が、より迅速に、より強く行われることが求められていると思います。

「までいライフ」大切に使いきる」を掲げ村づくりをしてきた飯舘村の菅野村長は「大量生産・大量消費・大量廃棄・自分さえ良ければ」という価値観が変わってほしい。次世代に迷惑をかけない生き方をする。日本に変化が起きれば避難生活も我慢できる」と語ります。大北地方にも「までい」という方言があります。飯舘の価値観に学び、暮らし方を変え、震災を風化させないよう東北に心を寄せていきたいと思えます。(松島)